

延岡市消防本部消防救急デジタル無線設備更新に関する意見募集／意見の内容と本市の考え方

○意見募集期間：令和7年1月6日（月曜）～令和7年1月26日（日曜）

○結果：提出者9名 提出された意見9件

No.	意見の分類	意見の内容	市の考え方
1	肯定的な意見	必要だと思います。こういうのに税金を使ってほしいです。	消防救急デジタル無線設備は、消防救急活動に必要な不可欠な無線通信網です。 消防本部は、設備障害が発生し、市民の皆様の生命、身体及び財産を守るための活動に支障をきたすことが無いよう、消防救急デジタル無線設備の更新事業に取り組んでまいります。
2	肯定的な意見	消防無線は市民の財産、生命を守る為に必要不可欠な物と思います。適正な時期に適切な性能の物に更新するべきと考えます。	
3	肯定的な意見	デジタル無線は、要援護者の情報や高齢者などの情報等が正確に把握できるときいたことがあります。宮崎県延岡市は、川や山、海が市民のすぐそばに身近なものであり、災害のリスクもあると思います。新しくデジタル無線設備を更新して、より安全な町づくりができれば、私たちも安心します。	
4	肯定的な意見	人の命を守る時、緊急時の通信設備はどのような状態に於いても正常に作動する事は当たり前の事だと思っています。電子機器の寿命は昔から10年と言われており又、電子機器の故障は特に兆候が見られず突然にダウンするものです。メーカーが保守契約をしないのは自分とこの製品でも今後は設備の故障の多発や故障部品の調達等が困難で現状復帰に責任が持てないからだと思います。消防の仕事は1分1秒の時間との闘いと認識しています。1人の市民として故障した場合、修復が困難で長時間の通信不能の事態は避けてもらいたいものです。そこで毎日毎日を延岡市民の生命や財産を守る観点からこの設備は 最重要な設備 で有りこの 消防救急無線設備 は市民からも安心し信頼の出来る設備に 即更新すべきと考えます 。	
5	肯定的な意見 ・ 事業費について	市民の安全に関わることで、適正に管理・運用頂ければと思います。比較対象もないので、11.6億円の妥当性が正直よくわかりませんでした。	事業費用の比較について、基地局数や管轄面積、周波数の数量等の違いから容易に比較できる対象がお示しできませんでした。 今後も本事業を適正に進めるよう真摯に取り組んでまいります。
6	肯定的な意見 ・ 事業費について	災害発生時に迅速な消防活動を行っていただく為に、機器更新は必要かと思 います。 ただ10数年後、同じように通信機器が陳腐化して更新費が今回同等もしくはそれ以上になるかと思 います。故障部品や消耗品が汎用品や他メーカーでの代替品で対応出来るかを考慮すべきと思 います。	現時点では、故障部品等を凡庸品等で代用することは困難ですが、今後、各メーカーの動向、国の指針等に注視し、検討してまいります。
7	肯定的な意見 ・ 事業費について	・町の安全、人の命に関わる設備だと思 いますので、耐用年数や保守契約を考慮すると更新は必要だと思います。 ・総事業費の妥当性については判断できないのですが、金額だけ見ると高い印象を受けました。見込み金額を超えないように事業の進捗管理をお願い致します。また、事業に関わる工事は市内の企業に還元されるとよりよいのかなと思 いました。	適正に事業の進捗状況を管理し、市民の皆様の生命、身体及び財産を守るための活動に支障をきたすことが無いよう、消防救急デジタル無線設備の更新事業に取り組んでまいります。 事業請負者について、本市も同様の方針であり、各種法令に抵触しないよう留意して、受注者と協議の上進めてまいります。
8	肯定的な意見 ・ 機能面について	今後、自然災害の対応にスムーズに対応する必要があり、設備の劣化により人命が危機にさらされるのはもってのほかと考えます。また災害時には隊員の皆様に予期せぬ事が発生し、一般の方がデジタル無線を使う必要に迫られる状況になった場合、直感的にあるいは見れば、読めばわかる、使える表示である事が重要です。 日本語である事、略語であっても分かりやすい事、操作性、携帯性に優れ、充電、乾電池どちらでも使用可能であること、特殊に作られたケーブル（充電を目的とした）でない事、ボタンの色分け等分かりやすい事です。	消防救急デジタル無線設備は、火災や救急等の現場活動における通信手段になります。そのため、市民の皆様が消防救急デジタル無線を使用する状況は想定しておりません。 また、通信内容に重要な個人情報が含まれることから、無線機等は認可を受けた機種のみ使用できるものです。 消防本部は、市民の皆様の生命・身体・財産を守るという消防の目的を確実に推進するため、いただいたご意見を参照にさせていただき消防救急デジタル無線設備の更新事業に取り組んでまいります。
9	事業費について	延岡市消防と西臼杵消防と無線基地を共有しているかわかりませんが、もし共有をしてなければ共有して使用すれば、市と町の境界線で効率の良い救急が更にでき、事業費等もまだおさえられるんでしょうか？	延岡市消防本部は無線基地局を西臼杵消防と共有しておりませんが、市と町の境界線付近での災害対応については、無線の共通波（全国波や県波等）等を用いて情報を共有することが可能となっています。なお、事業費の削減に直接影響するものではないかと考えます。